学校番号	413

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術１（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、様々な美術作品を制作することにより、表現技術をのばし、表現活動の喜びを感じとってほしいと考えます。また他者の作品を鑑賞することにより、良いところを自分の作品に取り入れてください。
・１年生では描写力を養うために、毎時間１０分から１５分程度のクロッキーを行います。３Ｂくらいの鉛筆を毎時間、必ず用意してください。
・教材で購入したアクリル絵の具を使って平面作品を中心に制作します。アクリル絵の具の特性を知るとともに、混色の技術や筆の使い方、配色の工夫等を学びます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】　表現の基礎となる描写力や彩色方法を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】作品の表現方法を工夫するとともに、自分の思いや考えを作品にこめることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】美術を愛好する心情を育て、心豊かな生活や社会を創造する態度を培う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・創造的な作品を制作するための基本となるデッサン力や彩色技術等の知識・技能・技術を身につけ、造形的で個性的な作品を表現する。	・感じたことや考えたことをもとに自分なりの主題に基づいて、創造的な表現を練ることができる。また美術の歴史や文化についての理解を深める。	・美術の創造活動の喜びを味わい、多種多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	鉛筆クロッキー	・鉛筆を使ったクロッキー (自分の手や身近な静物)	a:造形的な要素を理解し、描写力や表現力を身につけている。 b:表現形式の特性を生かし、形体の要素について考え、表現の構想を練っている。 c:主体的に作品に取り組んでいる。	描写力 立体感	描線の工夫 明暗のつけ方の工夫	作品に取り組む姿勢
	平面デザイン構成	・アクリル絵の具による幾何学的なデザイン構成	a: デザイン的な造形的要素の働きを理解し、創意工夫した表現を行っている。 b:主題や条件、美しさを考え、構想を練り、主題を生成している。 c: 主体的にデザインの創造活動に取り組んでいる。	画面構成 彩色技術 混色技術	アイデアスケッチ 色彩計画	作品に取り組む姿勢
二学期	名画の模写	教科書の参考作品(セザンヌの静物画)を題材にした模写	a:造形の要素の働きを理解し、全体のイメージや作風、技法を理解している。 b: 表現形式の特性を感じ、形体の画面構成などについて考えを深めている。 c: 主体的に絵画の表現活動に取り組んでいる。	描写力 混色技術 立体感の表現	遠近感の工夫 タッチの発見と工夫	作品に取り組む姿勢
三学期	一版多色版画	様々な花をモチーフにした一版多色刷り版画の制作	a:題材をもとに表現方法を工夫し、美しくかつ個性的な表現を行っている b:木版画のプロセスを理解し、主題に沿った表現を創意工夫している。 c: 主体的に版画の表現活動に取り組んでいる。	描写力 彫刻刀の扱い 画面の構成力	アイデアスケッチ 鑑賞レポート	作品に取り組む姿勢

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度